

2015年(平成27年)

7月31日(金)

河北新報社

〒980-8660

仙台市青葉区五橋1-2-28

www.kahoku.co.jp

「東」は、未来



総合案内 022(211)1111

読者相談室 (211)1447

ご購入申し込みは

オオク ミナヨム

0120-09-3746

河北新報

河北新報

2015年(平成27年)7月31日(金曜日)

+

(25)

16版

社会・総合

ウイスキー 宇宙で熟成 サントリーと 東北大実験へ

サントリーと東北大などは30日、国際宇宙ステーション(ISS)の日本実験棟「きぼう」でウイスキーを長期保管し、無重力状態がお酒の「まろやかさ」に与える影響を調べる実験を行うと発表した。8月に打ち上げられる無人補給機「こうのとり」に搭載され、きぼうで1年以上保管した後に回収。詳しい成分を分

析し、地上で同期間保管したサンプルと比較する。

ウイスキーなどの蒸留酒は、長期間の熟成でアルコールの刺激が薄れ、まろやかさが生み出される。サントリーは、酒に含まれるエタノールなどの分子が水分とくっつく「高次化」が

まろやかさのもとと考え、東北大などとメカニズムの解明を進めてきた。研究の中で、高次化は液体が動かないほうが進みやすいことが分かったため、対流が生じない無重力環境で長期間保管し、その影響を調べることにした。